

# 今、君を想う

「こんなに早くに逝ってしまうなんて

もっと君といたかった・・・」



## 今、君を想う(分会追悼文)

神保くんの突然の御訃報に接し、慎んでお悔やみを申しあげますと共に、心よりご冥福をお祈りいたします。

神保くんは、昭和 56 年、当時の国鉄新幹線総局に正規課程第 17 回生として採用され、新幹線の車両検修係を経て憧れだった新幹線運転士に合格し平成 19 年からは今の東京駅へと発令され、これまで 37 年間私たちと一緒に鉄道人生を歩んできました。

鉄道模型が大好きで、家にまだ作りかけの模型がたくさんあるんだと話していたのがつい昨日のように思い出されます。

神保くんは、彼本来の心優しさと共に筋の通らぬ事が大嫌いで物事の道理には大変厳しい人でした。そんな彼だからこそ、まさか大好きなお父さんやお母さんよりも先に自分が旅立つことを神保くん自身が驚いていると思います。

仕事終わりに、今日はバイクで実家に洗濯物を持っていくんだ。電話でそっちで晩御飯食べるから団子(おにぎり)作っというとお母さんと嬉しそうに話す神保くんの在りし日の姿を私たちはずっとずっと忘れません。

神保くん、今までありがとう。安らかにお眠りください。

いつも優しく笑顔の神保君が、北海道吉井さんより  
大きな身体を背負って、人生を歩んでくれた。忘れられぬ人だ。  
スキーに行きたかったが、忘れられぬ人だ。  
スキー場では子供には大人気な神保君。  
子供達と遊んでくれた。顔が心から笑って、  
またまた若い神保君の訃報を知り、本当に残念です。

北海道吉井さんより



常宿 ロッジカナダにて



乗分旅行会にて



上越国際スキー場にて

神保ちゃん笑顔をありがとう  
やすらかに眠り下さい